

4 製造品出荷額等

4 製造品出荷額等

製造品出荷額等は8兆1,258億円

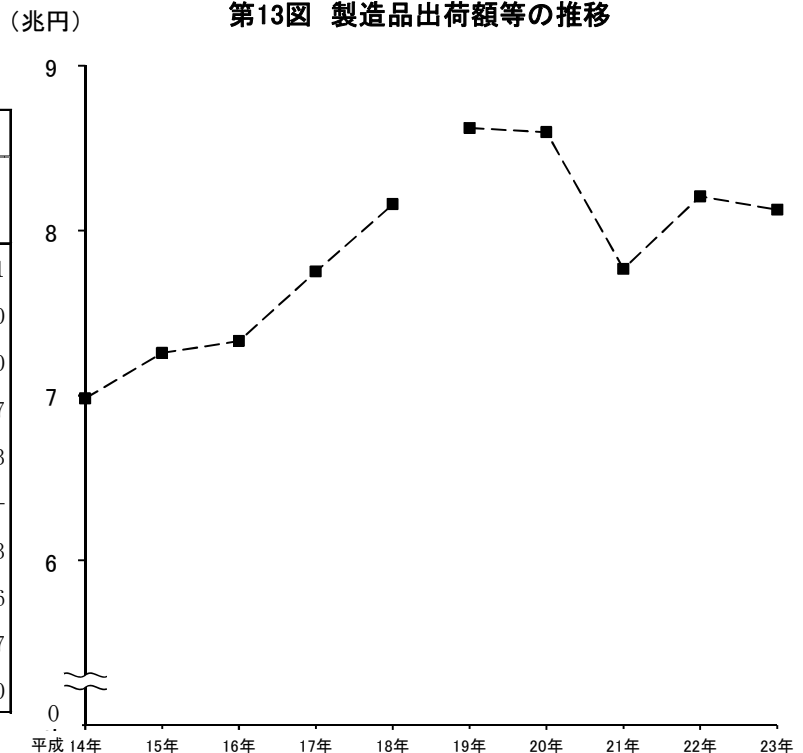
【動向】

製造品出荷額等は8兆1,258億円で、前年比△1.0%と2年ぶりに減少した。(第12表、第13図)

第12表 製造品出荷額等(年次別)

年次	製造品出荷額等	
	(百万円)	前年比(%)
平成14年	6,982,022	△ 3.1
15年	7,257,990	4.0
16年	7,330,262	1.0
17年	7,751,547	5.7
18年	8,159,756	5.3
19年	8,621,731	-
20年	8,596,534	△ 0.3
21年	7,767,530	△ 9.6
22年	8,207,581	5.7
23年	8,125,832	△ 1.0

第13図 製造品出荷額等の推移



* 第12表の平成14年の前年比については、平成14年の産業分類改訂(対象分類の減少)により平成13年の数値を平成14年の分類で組み替えたもので計算している。

* 平成19年の調査項目追加により、平成19年の数値は平成18年以前の数値と接続しない。

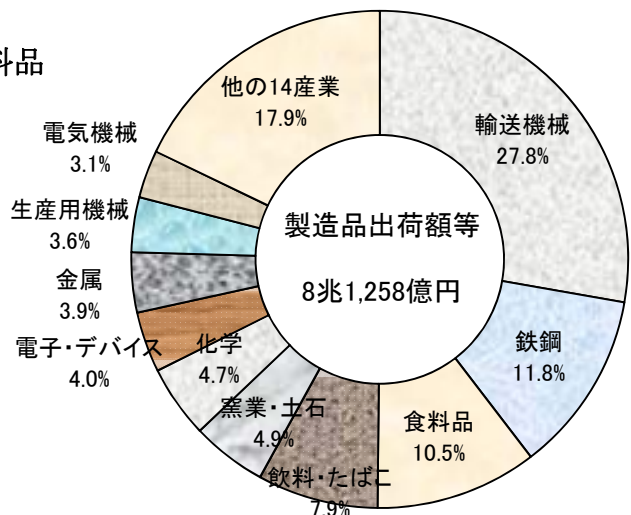
* 平成22年以前の数値は、経済産業省「工業統計調査」における確報値。

【産業別 製造品出荷額等】

第14図 産業別製造品出荷額等の構成比

○上位3産業は、輸送機械、鉄鋼、食料品

製造品出荷額等が大きい産業をみると、輸送機械が2兆2,567億円(構成比27.8%)、鉄鋼が9,621億円(同11.8%)、食料品が8,556億円(同10.5%)、飲料・たばこが6,383億円(同7.9%)の順となっており、この4産業(4兆7,128億円)で全体の58.0%を占めている。(第14図)



○増加は、鉄鋼、石油・石炭、窯業・土石など。減少は、輸送機械、金属、化学など

前年と比較すると、増加は、鉄鋼が+645億円（前年比+7.2%）、石油・石炭が+587億円（同+72.0%）、窯業・土石が+432億円（同+12.2%）などとなっている。

一方、減少は、輸送機械が△914億円（同△3.9%）、金属が△834億円（同△20.9%）、化学が△619億円（同△13.9%）などとなっている。

全24産業のうち、増加は11産業で、その他は減少している。（第13表、第15図）

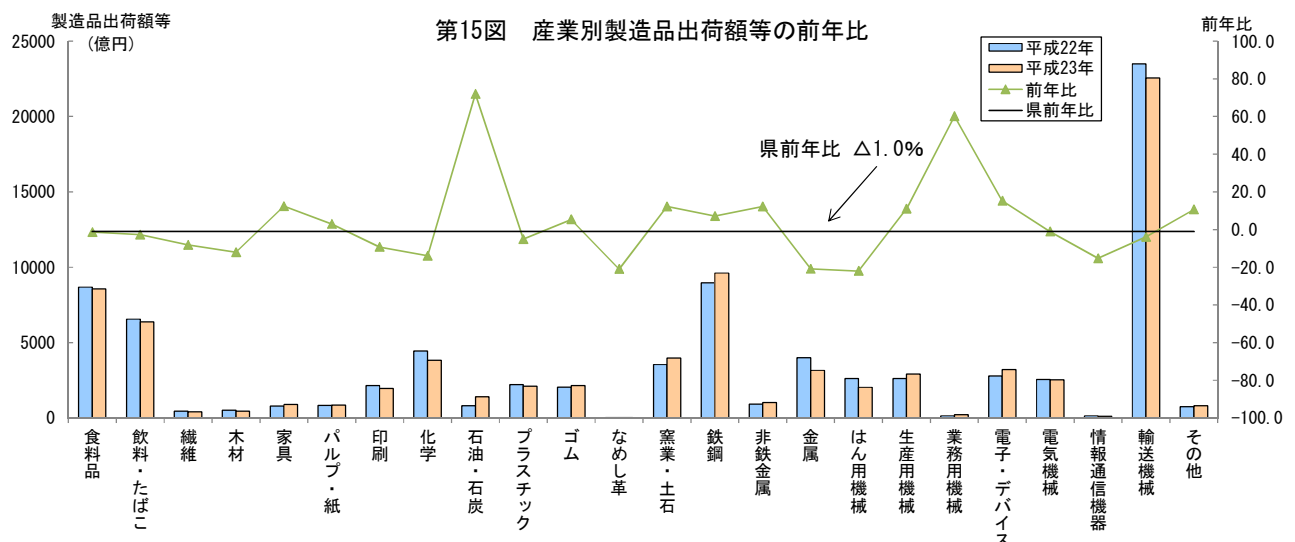
第13表 産業別製造品出荷額等

(単位:百万円)

産業中分類	平成22年		平成23年		増減額	前年比(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
09 食料品 [生]	867,743	10.6	855,588	10.5	△ 12,154	△ 1.4
10 飲料・たばこ [生]	656,191	8.0	638,306	7.9	△ 17,885	△ 2.7
11 繊維 [生]	44,435	0.5	40,840	0.5	△ 3,595	△ 8.1
12 木材 [基]	51,881	0.6	45,644	0.6	△ 6,237	△ 12.0
13 家具 [生]	79,835	1.0	89,747	1.1	9,913	12.4
14 パルプ・紙 [基]	83,449	1.0	85,885	1.1	2,435	2.9
15 印刷 [生]	216,282	2.6	196,293	2.4	△ 19,989	△ 9.2
(16)化学 [基]	445,211	5.4	383,270	4.7	△ 61,941	△ 13.9
(17)石油・石炭 [基]	81,570	1.0	140,283	1.7	58,713	72.0
18 プラスチック [基]	221,963	2.7	210,602	2.6	△ 11,361	△ 5.1
19 ゴム [基]	204,478	2.5	215,412	2.7	10,934	5.3
20 なめし革 [生]	2,398	0.0	1,895	0.0	△ 503	△ 21.0
21 窯業・土石 [基]	354,755	4.3	397,956	4.9	43,201	12.2
(22)鉄鋼 [基]	897,659	10.9	962,146	11.8	64,487	7.2
(23)非鉄金属 [基]	91,823	1.1	103,112	1.3	11,289	12.3
(24)金属 [基]	399,402	4.9	316,023	3.9	△ 83,379	△ 20.9
(25)はん用機械 [加]	260,669	3.2	203,410	2.5	△ 57,259	△ 22.0
(26)生産用機械 [加]	262,316	3.2	291,365	3.6	29,049	11.1
(27)業務用機械 [加]	14,260	0.2	22,841	0.3	8,581	60.2
(28)電子・デバイス [加]	278,935	3.4	321,348	4.0	42,413	15.2
(29)電気機械 [加]	255,319	3.1	252,483	3.1	△ 2,835	△ 1.1
(30)情報通信機器 [加]	14,456	0.2	12,248	0.2	△ 2,208	△ 15.3
(31)輸送機械 [加]	2,348,112	28.6	2,256,729	27.8	△ 91,382	△ 3.9
32 その他 [生]	74,441	0.9	82,407	1.0	7,966	10.7
重化学工業	5,349,731	65.2	5,265,258	64.8	△ 84,474	△ 1.6
軽工業	2,857,850	34.8	2,860,575	35.2	2,725	0.1
総数	8,207,581	100.0	8,125,832	100.0	△ 81,749	△ 1.0

*重化学工業は分類番号に（ ）を付し軽工業と区分している。

*[基][加][生]はそれぞれ基礎素材型、加工組立型、生活関連型の3類型を表す。詳細は[利用上の注意]参照。



4 製造品出荷額等

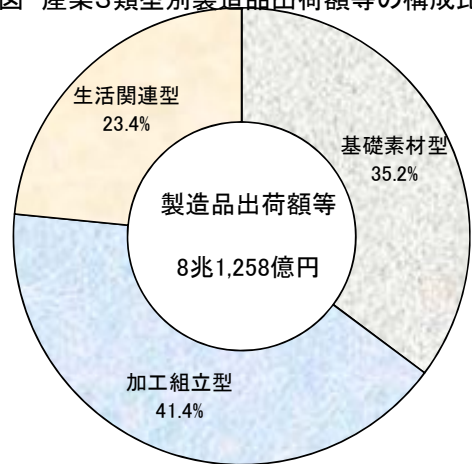
【産業3類型別 製造品出荷額等】

○最も大きいのは加工組立型

産業3類型別にみると、基礎素材型が2兆8,603億円（構成比35.2%）、加工組立型が3兆3,604億円（同41.4%）、生活関連型が1兆9,051億円（同23.4%）となっている。（第16図）

前年と比較すると、増加は基礎素材型が+281億円（前年比+1.0%）、減少は加工組立型が△736億円（同△2.1%）、生活関連型が△362億円（同△1.9%）となっている。（第14表）

第16図 産業3類型別製造品出荷額等の構成比



第14表 産業3分類別製造品出荷額等

(単位:百万円)

産業3分類	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
基礎素材型	2,832,191	34.5	2,860,332	35.2	28,140	1.0
加工組立型	3,434,066	41.8	3,360,424	41.4	△ 73,641	△ 2.1
生活関連型	1,941,324	23.7	1,905,076	23.4	△ 36,248	△ 1.9
総数	8,207,581	100.0	8,125,832	100.0	△ 81,749	△ 1.0

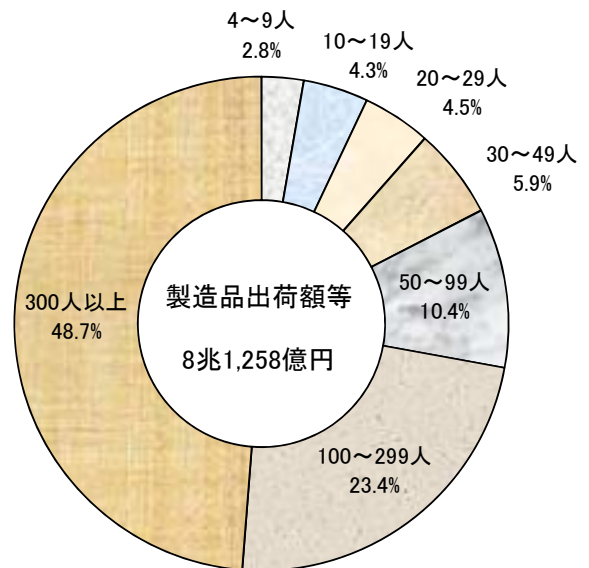
【従業者規模別 製造品出荷額等】

○「100人以上」の規模で7割以上を占める

従業者規模別(7区分)にみると、従業者数「300人以上」が3兆9,612億円（構成比48.7%）、同「100～299人」が1兆9,007億円（同23.4%）となっており、この2規模で5兆8,619億円と全体の72.1%を占めている。（第17図）

前年と比較すると、増加は同「30～49人」が+497億円（前年比+11.5%）、同「4～9人」が+456億円（同+25.6%）など、減少は同「300人以上」が△1,339億円（同△3.3%）、同「100～299人」が△585億円（同△3.0%）などとなっている。（第15表）

第17図 従業者規模別製造品出荷額等の構成比



第15表 従業者規模別製造品出荷額等

(単位:百万円)

従業者規模	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
4～9人	178,244	2.2	223,814	2.8	45,570	25.6
10～19人	335,352	4.1	345,667	4.3	10,315	3.1
20～29人	370,262	4.5	365,153	4.5	△ 5,109	△ 1.4
30～49人	431,891	5.3	481,619	5.9	49,728	11.5
50～99人	837,527	10.2	847,689	10.4	10,162	1.2
100～299人	1,959,169	23.9	1,900,686	23.4	△ 58,483	△ 3.0
300人以上	4,095,137	49.9	3,961,204	48.7	△ 133,932	△ 3.3
総数	8,207,581	100.0	8,125,832	100.0	△ 81,749	△ 1.0

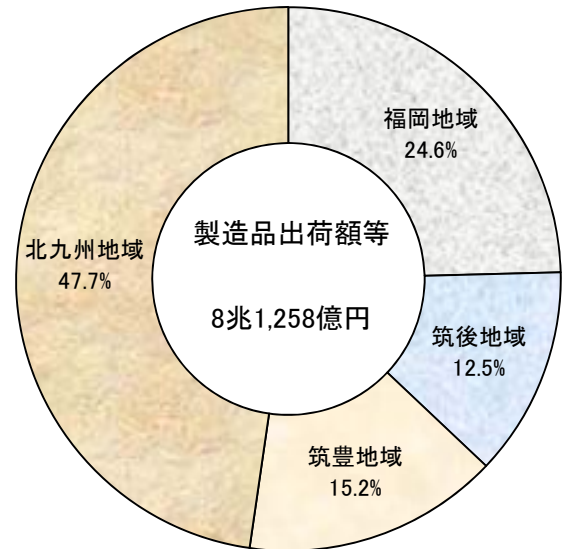
【地域別 製造品出荷額等】

第18図 地域別製造品出荷額等の構成比

○最も大きい地域は北九州地域

地域別にみると、北九州地域が3兆8,773億円（構成比47.7%）と最も大きく、次いで福岡地域が1兆9,998億円（同24.6%）、筑豊地域が1兆2,369億円（同15.2%）、筑後地域が1兆119億円（同12.5%）となっている。（第18図）

前年と比較すると、増加は福岡地域が+746億円（前年比+3.9%）、北九州地域が+618億円（同+1.6%）、減少は筑豊地域が△1,968億円（同△13.7%）、筑後地域が△213億円（同△2.1%）となっている。（第16表）



第16表 地域別製造品出荷額等

(単位:百万円)

地 域	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
福 岡 地 域	1,925,164	23.5	1,999,770	24.6	74,606	3.9
筑 後 地 域	1,033,246	12.6	1,011,904	12.5	△ 21,343	△ 2.1
筑 豊 地 域	1,433,624	17.5	1,236,862	15.2	△ 196,762	△ 13.7
北 九 州 地 域	3,815,546	46.5	3,877,297	47.7	61,750	1.6
総 数	8,207,581	100.0	8,125,832	100.0	△ 81,749	△ 1.0

5 付加価値額

5 付加価値額

付加価値額は2兆4,721億円

【動向】

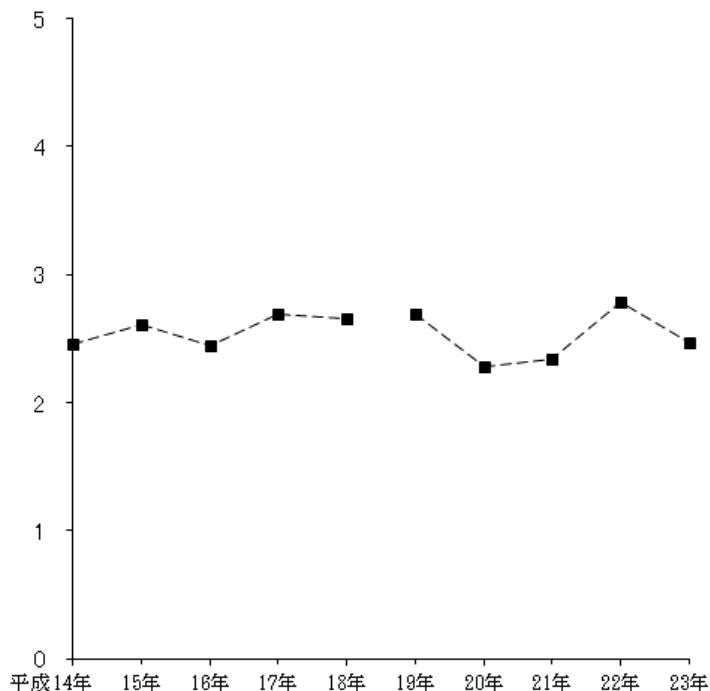
付加価値額は2兆4,721億円で、前年比△11.3%と3年ぶりに減少した。(第17表、第19図)

第17表 製造品付加価値額(年次別)

(兆円)

年次	付加価値額	
	(百万円)	前年比(%)
平成14年	2,455,486	△ 5.0
15年	2,612,020	6.4
16年	2,446,091	△ 6.4
17年	2,697,217	10.3
18年	2,654,615	△ 1.6
19年	2,694,773	-
20年	2,280,903	△ 15.4
21年	2,341,621	2.7
22年	2,788,622	19.1
23年	2,472,131	△ 11.3

第19図 付加価値額の推移



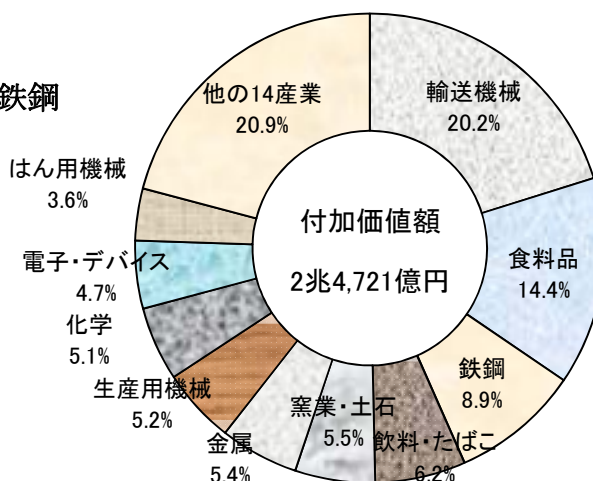
* 第17表の平成14年の前年比については、平成14年の産業分類改訂(対象分類の減少)により平成13年の数値を平成14年の分類で組み替えたもので計算している。
 * 平成19年の調査項目追加により、平成19年の数値は平成18年以前の数値と接続しない。
 * 平成22年以前の数値は、経済産業省「工業統計調査」における確報値。

【産業別 付加価値額】

第20図 産業別付加価値額の構成比

○上位3産業は、輸送機械、食料品、鉄鋼

付加価値額が大きい産業をみると、輸送機械が4,987億円(構成比20.2%)、食料品が3,548億円(同14.4%)、鉄鋼が2,192億円(同8.9%)、飲料・たばこが1,541億円(同6.2%)となっており、この4産業(1兆2,268億円)で全体の49.6%を占めている。(第20図)



○増加は、電子デバイス、食料品、石油・石炭など。減少は、輸送機械、化学など

前年と比較すると、増加は、電子・デバイスが+328億円(前年比+39.7%)、食料品が+306億円(同+9.4%)、石油・石炭が+237億円(同+395.1%)などである。

一方、減少は、輸送機械が△3,503億円(同△41.3%)、化学が△495億円(同△28.2%)、はん用機械が△304億円(同△25.6%)などとなっている。

全24産業のうち、12産業で増加、その他は減少している。(第18表、第21図)

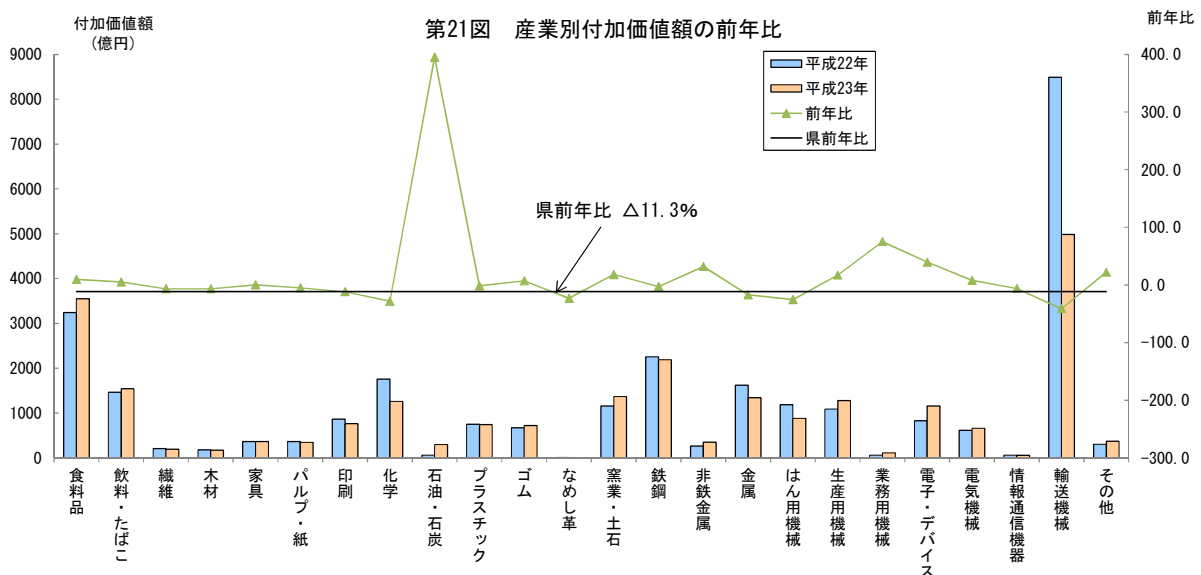
第18表 産業別・年次別付加価値額

(単位:百万円)

産業中分類	平成22年		平成23年		増減額	前年比(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
09 食料品 [生]	324,158	11.6	354,763	14.4	30,605	9.4
10 飲料・たばこ [生]	146,710	5.3	154,132	6.2	7,423	5.1
11 繊維 [生]	20,744	0.7	19,340	0.8	△1,404	△6.8
12 木材 [基]	18,362	0.7	17,128	0.7	△1,234	△6.7
13 家具 [生]	36,506	1.3	36,534	1.5	28	0.1
14 パルプ・紙 [基]	36,520	1.3	34,657	1.4	△1,864	△5.1
15 印刷 [生]	86,700	3.1	76,549	3.1	△10,150	△11.7
(16)化学 [基]	175,672	6.3	126,192	5.1	△49,479	△28.2
(17)石油・石炭 [基]	5,997	0.2	29,693	1.2	23,696	395.1
18 プラスチック [基]	75,212	2.7	74,113	3.0	△1,099	△1.5
19 ゴム [基]	67,302	2.4	72,098	2.9	4,796	7.1
20 なめし革 [生]	1,016	0.0	780	0.0	△236	△23.2
21 窯業・土石 [基]	115,720	4.1	136,711	5.5	20,991	18.1
(22)鉄鋼 [基]	225,366	8.1	219,187	8.9	△6,179	△2.7
(23)非鉄金属 [基]	26,751	1.0	35,313	1.4	8,561	32.0
(24)金属 [基]	161,993	5.8	134,145	5.4	△27,848	△17.2
(25)はん用機械 [加]	118,675	4.3	88,310	3.6	△30,365	△25.6
(26)生産用機械 [加]	108,988	3.9	127,700	5.2	18,712	17.2
(27)業務用機械 [加]	6,388	0.2	11,198	0.5	4,810	75.3
(28)電子・デバイス [加]	82,754	3.0	115,602	4.7	32,848	39.7
(29)電気機械 [加]	61,516	2.2	66,296	2.7	4,779	7.8
(30)情報通信機器 [加]	6,122	0.2	5,747	0.2	△375	△6.1
(31)輸送機械 [加]	848,964	30.4	498,689	20.2	△350,274	△41.3
32 その他 [生]	30,489	1.1	37,255	1.5	6,766	22.2
重化学工業	1,829,185	65.6	1,458,072	59.0	△371,114	△20.3
軽工業	959,437	34.4	1,014,059	41.0	54,622	5.7
総数	2,788,622	100.0	2,472,131	100.0	△316,491	△11.3

*重化学工業は分類番号に()を付し軽工業と区分している。

*[基][加][生]はそれぞれ基礎素材型、加工組立型、生活関連型の3類型を表す。詳細は[利用上の注意]参照。



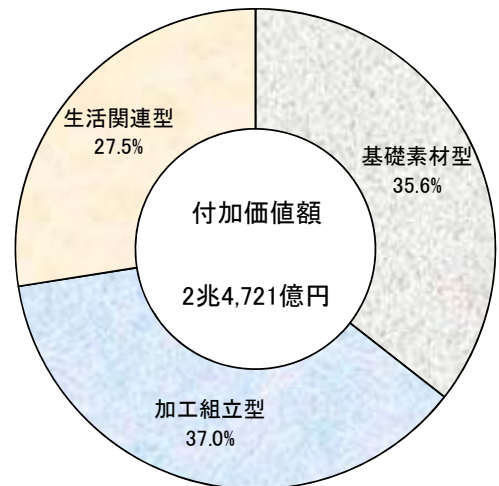
【産業3類型別 付加価値額】

第22図 産業3類型別付加価値額の構成比

○最も大きいのは加工組立型

産業3類型別にみると、基礎素材型が8,792億円（構成比35.6%）、加工組立型が9,135億円（同37.0%）、生活関連型が6,794億円（同27.5%）となっている。（第22図）

前年と比較すると、増加は生活関連型で+330億円（前年比+5.1%）、減少は加工組立型が△3,199億円（同△25.9%）、基礎素材型が△297億円（同△3.3%）となっている。（第19表）



第19表 産業3類型別・年次別付加価値額

(単位:百万円)

産業3分類	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
基礎素材型	908,895	32.6	879,236	35.6	△ 29,659	△ 3.3
加工組立型	1,233,406	44.2	913,542	37.0	△ 319,864	△ 25.9
生活関連型	646,321	23.2	679,353	27.5	33,032	5.1
総数	2,788,622	100.0	2,472,131	100.0	△ 316,491	△ 11.3

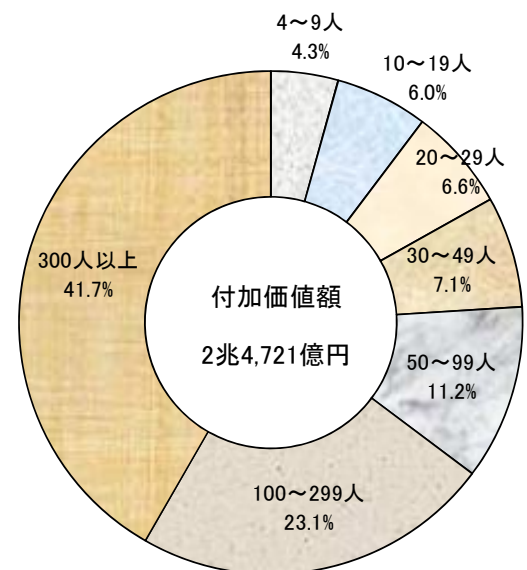
【従業者規模別 付加価値額】

第23図 従業者規模別付加価値額の構成比

○「50人以上」の規模で7割以上を占める

従業者規模別(7区分)にみると、従業者数「300人以上」が1兆308億円（構成比41.7%）、同「100~299人」が5,702億円（同23.1%）、同「50~99人」が2,779億円（同11.2%）となっており、この3規模（1兆8,789億円）で全体の76.0%を占めている。（第23図）

前年と比較すると、増加は同「30~49人」が+280億円（前年比+18.8%）、同「4~9人」が+266億円（同+33.2%）、同「50~99人」が+113億円（同+4.2%）などで、減少は同「300人以上」が△3,780億円（同△26.8%）、同「100~299人」が△197億円（同△3.3%）となっている。（第20表）



第20表 従業者規模別・年次別付加価値額

(単位:百万円)

従業者規模	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
4 ~ 9人	80,170	2.9	106,800	4.3	26,630	33.2
10 ~ 19人	140,608	5.0	147,339	6.0	6,731	4.8
20 ~ 29人	153,834	5.5	162,439	6.6	8,606	5.6
30 ~ 49人	148,739	5.3	176,699	7.1	27,959	18.8
50 ~ 99人	266,581	9.6	277,894	11.2	11,313	4.2
100 ~ 299人	589,895	21.2	570,169	23.1	△ 19,726	△ 3.3
300人以上	1,408,796	50.5	1,030,792	41.7	△ 378,004	△ 26.8
総数	2,788,622	100.0	2,472,131	100.0	△ 316,491	△ 11.3

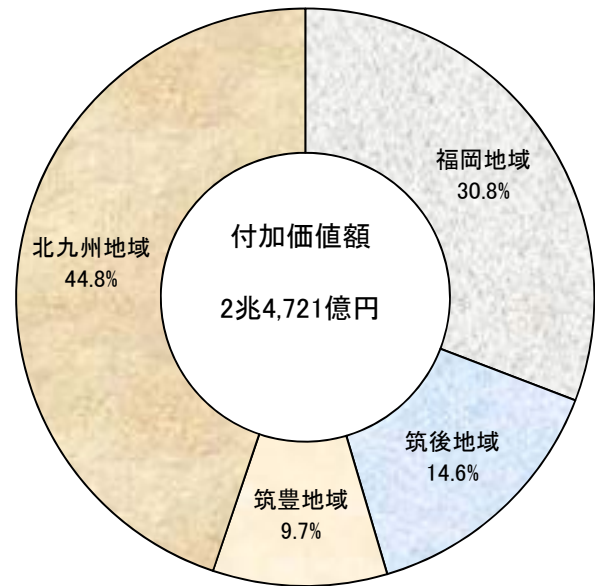
【地域別 付加価値額】

第24図 地域別付加価値額の構成比

○北九州地域だけで約半数を占める

地域別にみると、北九州地域が1兆1,082億円（構成比44.8%）と最も多く、次いで福岡地域が7,617億円（同30.8%）、筑後地域が3,613億円（同14.6%）、筑豊地域が2,409億円（同9.7%）となっている。（第24図）

前年と比較すると、増加は福岡地域が+1,207億円（前年比+18.8%）、減少は北九州地域が△4,049億円（同△26.8%）、筑豊地域が△214億円（同△8.2%）、筑後地域が△108億円（同△2.9%）となっている。（第21表）



第21表 地域別・年次別付加価値額

(単位:百万円)

地 域	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
福岡地域	641,057	23.0	761,719	30.8	120,662	18.8
筑後地域	372,127	13.3	361,293	14.6	△ 10,834	△ 2.9
筑豊地域	262,303	9.4	240,909	9.7	△ 21,395	△ 8.2
北九州地域	1,513,135	54.3	1,108,211	44.8	△ 404,924	△ 26.8
総 数	2,788,622	100.0	2,472,131	100.0	△ 316,491	△ 11.3

6 生産額(従業者30人以上の事業所)

生産額は6兆9,738億円

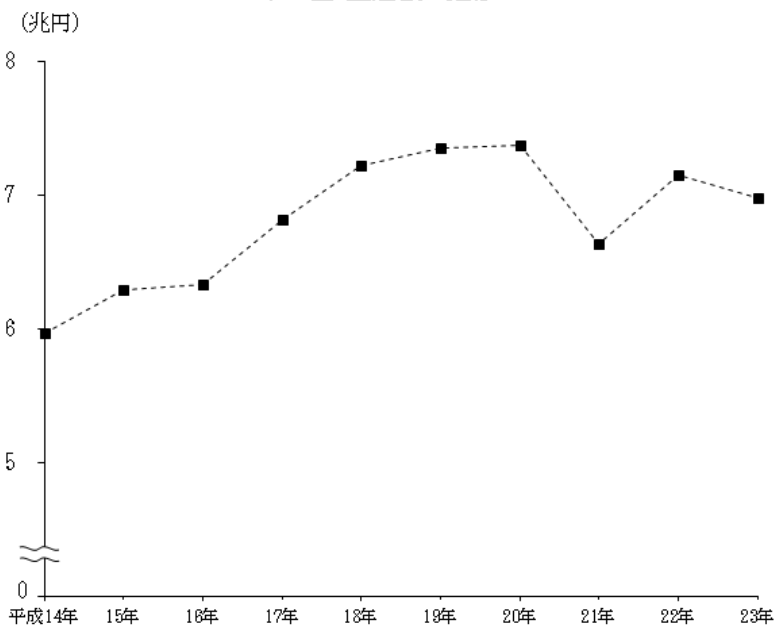
【動向】

生産額は6兆9,738億円で、前年比△2.5%と2年ぶりに減少した。(第22表、第25図)

第22表 生産額(年次別)

年次	生産額	
	(百万円)	前年比(%)
平成14年	5,962,811	△ 3.1
15年	6,289,038	5.5
16年	6,329,276	0.6
17年	6,813,839	7.7
18年	7,221,596	6.0
19年	7,349,657	1.8
20年	7,369,844	0.3
21年	6,631,023	△ 10.0
22年	7,149,730	7.8
23年	6,973,796	△ 2.5

第25図 生産額の推移



* 第22表の平成14年の前年比については、平成14年の産業分類改訂(対象分類の減少)により平成13年の数値を平成14年の分類で組み替えたもので計算している。

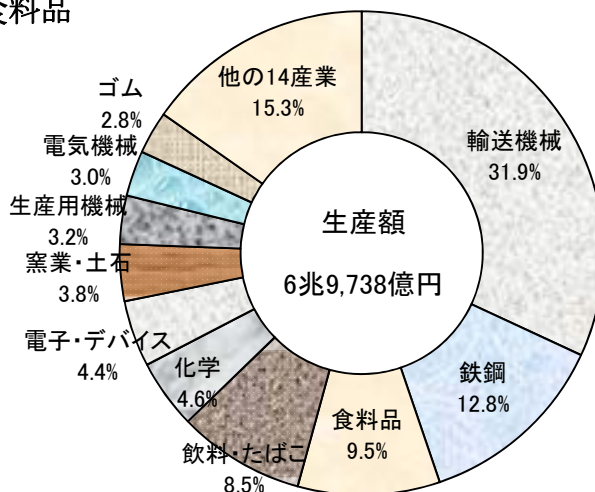
* 平成22年以前の数値は、経済産業省「工業統計調査」における確報値。

【産業別 生産額】

○上位3産業は、輸送機械、鉄鋼、食料品

生産額が大きい産業をみると、輸送機械が2兆2,261億円(構成比31.9%)、鉄鋼が8,955億円(同12.8%)、食料品が6,631億円(同9.5%)、飲料・たばこが5,922億円(同8.5%)、化学が3,217億円(同4.6%)となっており、この5産業(4兆6,986億円)で全体の67.4%を占めている。(第26図)

第26図 産業別生産額の構成比



○増加は、鉄鋼、石油・石炭、生産用機械など。減少は、輸送機械、金属、化学など

前年と比較すると、増加は、鉄鋼が+888億円（前年比+11.0%）、石油・石炭が+559億円（同+86.8%）、生産用機械が+290億円（同+14.7%）などである。

一方、減少は、輸送機械が△1,107億円（同△4.7%）、金属が△819億円（同△30.7%）、化学が△593億円（同△15.6%）などとなっている。（第23表、第27図）

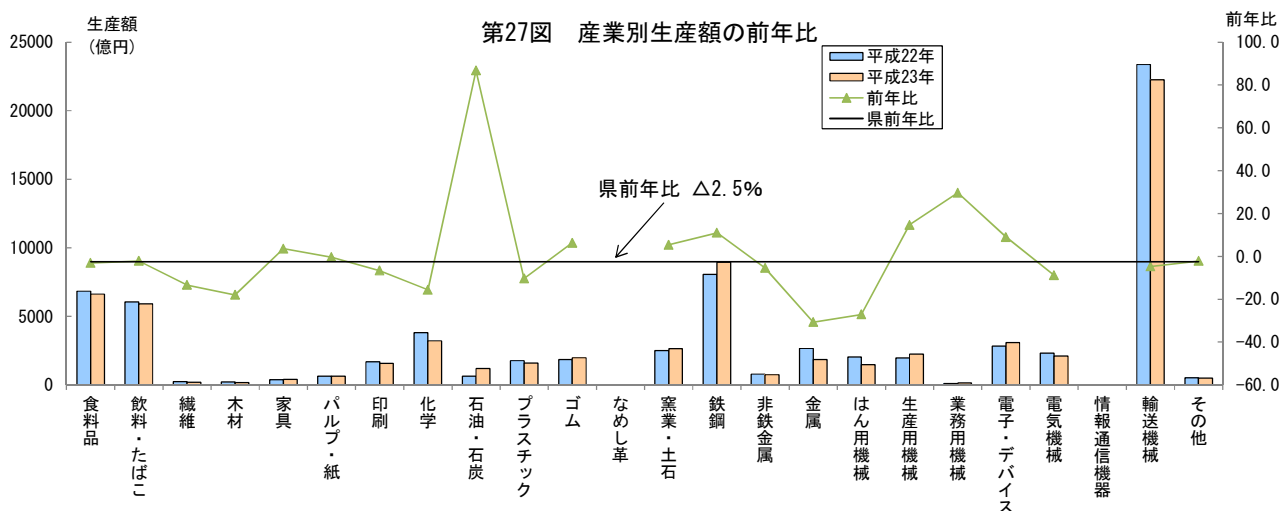
第23表 産業別・年次別生産額(従業者30人以上の事業所)

(単位:百万円)

産業中分類	平成22年		平成23年		増減額	前年比(%)
		構成比(%)		構成比(%)		
09 食料品 [生]	684,020	9.6	663,071	9.5	△ 20,949	△ 3.1
10 飲料・たばこ [生]	604,872	8.5	592,221	8.5	△ 12,651	△ 2.1
11 繊維 [生]	24,225	0.3	21,007	0.3	△ 3,218	△ 13.3
12 木材 [基]	21,824	0.3	17,913	0.3	△ 3,911	△ 17.9
13 家具 [生]	38,801	0.5	40,212	0.6	1,411	3.6
14 パルプ・紙 [基]	64,082	0.9	63,847	0.9	△ 236	△ 0.4
15 印刷 [生]	168,130	2.4	156,989	2.3	△ 11,141	△ 6.6
(16)化学 [基]	380,966	5.3	321,657	4.6	△ 59,309	△ 15.6
(17)石油・石炭 [基]	64,437	0.9	120,363	1.7	55,926	86.8
18 プラスチック [基]	177,847	2.5	159,505	2.3	△ 18,341	△ 10.3
19 ゴム [基]	186,598	2.6	198,437	2.8	11,839	6.3
20 なめし革 [生]	X	X	X	X	X	X
21 窯業・土石 [基]	251,469	3.5	265,199	3.8	13,730	5.5
(22)鉄鋼 [基]	806,750	11.3	895,522	12.8	88,772	11.0
(23)非鉄金属 [基]	78,607	1.1	74,382	1.1	△ 4,225	△ 5.4
(24)金属 [基]	266,865	3.7	184,925	2.7	△ 81,939	△ 30.7
(25)はん用機械 [加]	204,286	2.9	148,913	2.1	△ 55,373	△ 27.1
(26)生産用機械 [加]	196,719	2.8	225,691	3.2	28,972	14.7
(27)業務用機械 [加]	10,936	0.2	14,183	0.2	3,247	29.7
(28)電子・デバイス [加]	283,228	4.0	308,771	4.4	25,543	9.0
(29)電気機械 [加]	232,117	3.2	211,809	3.0	△ 20,309	△ 8.7
(30)情報通信機器 [加]	X	X	X	X	X	X
(31)輸送機械 [加]	2,336,780	32.7	2,226,100	31.9	△ 110,679	△ 4.7
32 その他 [生]	51,849	0.7	50,763	0.7	△ 1,087	△ 2.1
重化学工業	X	X	X	X	X	X
軽工業	X	X	X	X	X	X
総数	7,149,730	100.0	6,973,796	100.0	△ 175,935	△ 2.5

*重化学工業は分類番号に（ ）を付し軽工業と区分している。

*[基][加][生]はそれぞれ基礎素材型、加工組立型、生活関連型の3類型を表す。詳細は[利用上の注意]参照。



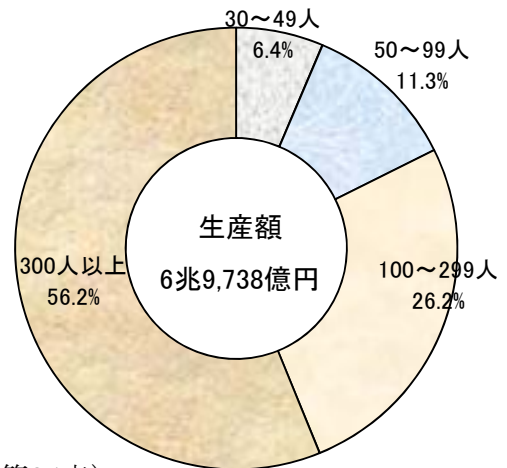
【従業者規模別 生産額】

第28図 従業者規模別生産額の構成比

○「300人以上」の規模だけで半数以上を占める

従業者規模別（4区分）にみると、従業者数「300人以上」が3兆9,162億円（構成比56.2%）と最も大きく、次いで同「100～299人」が1兆8,261億円（同26.2%）となっており、これら2規模（5兆7,424億円）で全体の82.3%を占めている。（第28図）

前年と比較すると、増加は同「30～49人」が+388億円（前年比+9.6%）、減少は同「300人以上」が△1,262億円（同△3.1%）、同「100～299人」が△813億円（同△4.3%）、同「50～99人」が△72億円（同△0.9%）となっている。（第24表）



第24表 従業者規模別・年次別生産額(従業者30人以上の事業所)

(単位:百万円)

従業者規模	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
30～49人	406,282	5.7	445,087	6.4	38,805	9.6
50～99人	793,596	11.1	786,349	11.3	△7,246	△0.9
100～299人	1,907,449	26.7	1,826,113	26.2	△81,336	△4.3
300人以上	4,042,404	56.5	3,916,247	56.2	△126,157	△3.1
総数	7,149,730	100.0	6,973,796	100.0	△175,935	△2.5

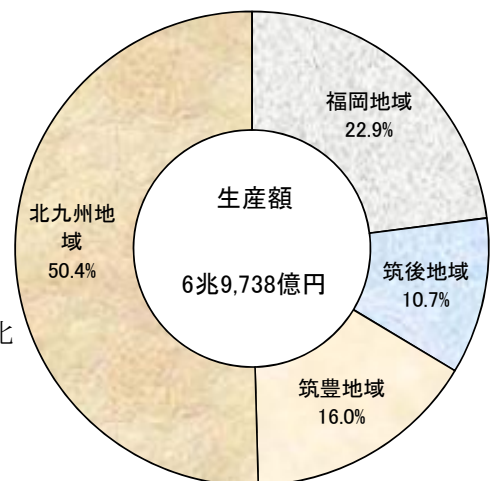
【地域別 生産額】

第29図 地域別生産額の構成比

○北九州地域だけで半数を占める

地域別にみると、北九州地域が3兆5,158億円（構成比50.4%）と最も大きく、次いで福岡地域が1兆6,005億円（同22.9%）、筑豊地域が1兆1,132億円（同16.0%）、筑後地域が7,443億円（同10.7%）となっている。（第29図）

前年と比較すると、増加は福岡地域が+466億円（前年比+3.0%）、減少は筑豊地域が△1,900億円（同△14.6%）、筑後地域が△319億円（同△4.1%）、北九州地域が△6億円（同△0.0%）となっている。（第25表）



第25表 地域別・年次別生産額(従業者30人以上の事業所)

(単位:百万円)

地域	平成22年		平成23年		増減額	前年比 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
福岡地域	1,553,913	21.7	1,600,463	22.9	46,550	3.0
筑後地域	776,225	10.9	744,342	10.7	△31,884	△4.1
筑豊地域	1,303,159	18.2	1,113,171	16.0	△189,988	△14.6
北九州地域	3,516,433	49.2	3,515,820	50.4	△613	△0.0
総数	7,149,730	100.0	6,973,796	100.0	△175,935	△2.5

7 有形固定資産額(従業者30人以上の事業所)

有形固定資産額は1兆9,184億円

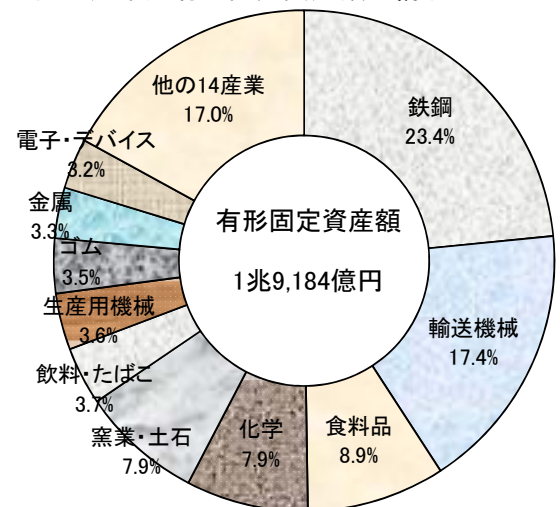
【産業別 有形固定資産額】

○上位3産業は、鉄鋼、輸送機械、食料品

有形固定資産（年末現在高）が大きい産業をみると、鉄鋼が4,494億円（構成比23.4%）、輸送機械が3,338億円（同17.4%）、食料品が1,715億円（同8.9%）、化学が1,512億円（同7.9%）、窯業・土石が1,510億円（同7.9%）となっており、この5産業（1兆2,569億円）で全体の65.5%を占めている。（第30図）

年初現在高と比較すると、増加は、鉄鋼が+122億円（年初比+2.8%）、ゴムが+62億円（同+10.0%）、石油・石炭が+51億円（同+9.9%）などとなっている。一方、減少は、輸送機械が△256億円（同△7.1%）、化学が△123億円（同△7.5%）、電子・デバイスが△67億円（同△9.8%）などとなっている。（第26表、第31図）

第30図 産業別有形固定資産額の構成比



第26表 産業別有形固定資産額(従業者30人以上の事業所)

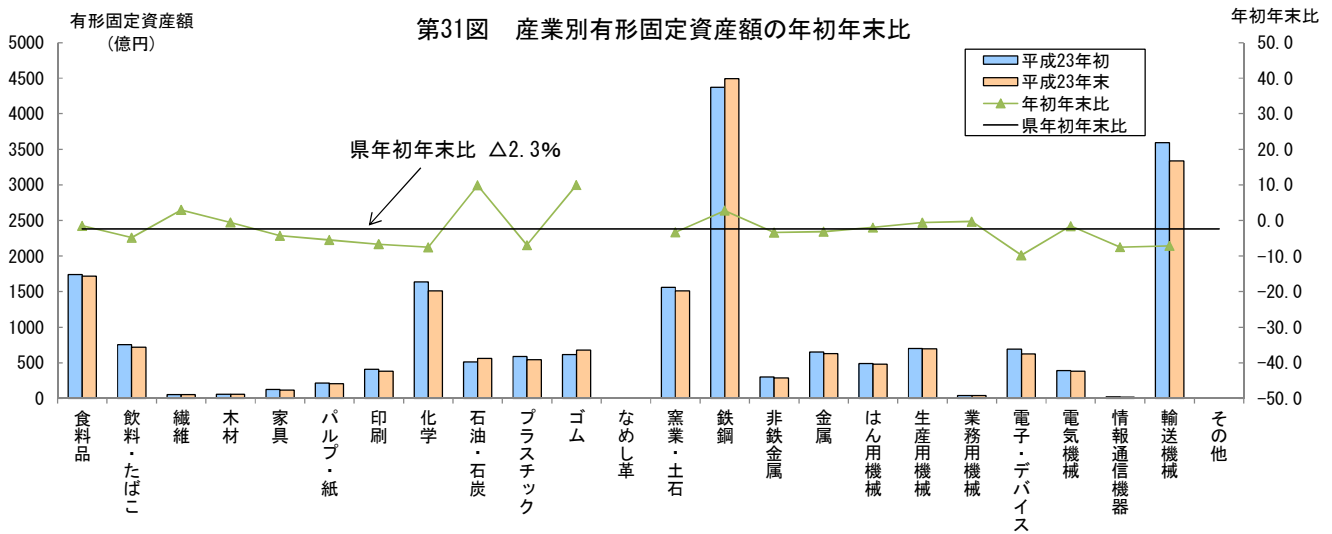
(単位:百万円)

産業中分類	年初現在高		年末現在高		増減額	年初年末比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
09 食料品 [生]	174,076	8.9	171,513	8.9	△ 2,563	△ 1.5
10 飲料・たばこ [生]	75,551	3.8	71,932	3.7	△ 3,619	△ 4.8
11 繊維 [生]	5,403	0.3	5,564	0.3	161	3.0
12 木材 [基]	5,728	0.3	5,695	0.3	△ 32	△ 0.6
13 家具 [生]	12,203	0.6	11,681	0.6	△ 521	△ 4.3
14 パルプ・紙 [基]	21,737	1.1	20,552	1.1	△ 1,185	△ 5.5
15 印刷 [生]	40,979	2.1	38,253	2.0	△ 2,726	△ 6.7
(16)化学 [基]	163,460	8.3	151,173	7.9	△ 12,286	△ 7.5
(17)石油・石炭 [基]	51,209	2.6	56,280	2.9	5,071	9.9
18 プラスチック [基]	58,531	3.0	54,489	2.8	△ 4,042	△ 6.9
19 ゴム [基]	61,705	3.1	67,874	3.5	6,169	10.0
20 なめし革 [生]	X	X	X	X	X	X
21 窯業・土石 [基]	156,122	7.9	150,952	7.9	△ 5,170	△ 3.3
(22)鉄鋼 [基]	437,208	22.3	449,413	23.4	12,205	2.8
(23)非鉄金属 [基]	29,921	1.5	28,915	1.5	△ 1,007	△ 3.4
(24)金属 [基]	64,932	3.3	62,912	3.3	△ 2,020	△ 3.1
(25)はん用機械 [加]	49,115	2.5	48,150	2.5	△ 965	△ 2.0
(26)生産用機械 [加]	70,226	3.6	69,814	3.6	△ 412	△ 0.6
(27)業務用機械 [加]	3,998	0.2	3,986	0.2	△ 12	△ 0.3
(28)電子・デバイス [加]	68,977	3.5	62,239	3.2	△ 6,738	△ 9.8
(29)電気機械 [加]	39,061	2.0	38,460	2.0	△ 601	△ 1.5
(30)情報通信機器 [加]	2,097	0.1	1,939	0.1	△ 157	△ 7.5
(31)輸送機械 [加]	359,423	18.3	333,824	17.4	△ 25,599	△ 7.1
32 その他 [生]	X	X	X	X	X	X
重化学工業	1,339,627	68.2	1,307,107	68.1	△ 32,521	△ 2.4
軽工業	624,962	31.8	611,338	31.9	△ 13,624	△ 2.2
総数	1,964,589	100.0	1,918,445	100.0	△ 46,145	△ 2.3

*重化学工業は分類番号に()を付し軽工業と区分している。

* [基][加][生]はそれぞれ基礎素材型、加工組立型、生活関連型の3類型を表す。詳細は[利用上の注意]参照。

7 有形固定資産額



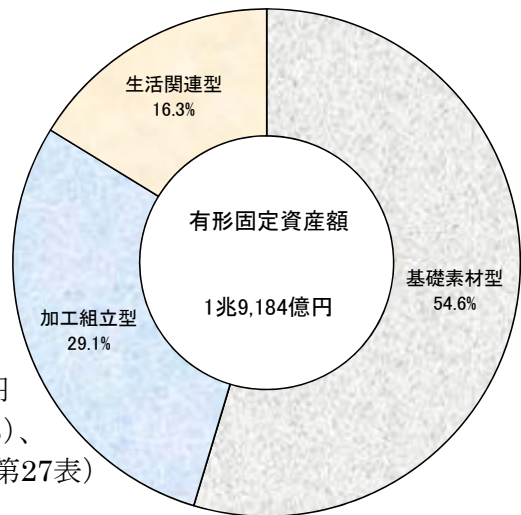
【産業3類型別 有形固定資産額】

○基礎素材型だけで5割以上を占める

産業3類型別にみると、基礎素材型が1兆483億円（構成比54.6%）と最も大きく、次いで加工組立型が5,584億円（同29.1%）、生活関連型が3,118億円（同16.3%）となっている。（第32図）

年初現在高と比較すると、いずれの類型も減少しており、減少額の大きい順に加工組立型が△345億円（年初比△5.8%）、生活関連型が△94億円（同△2.9%）、基礎素材型が△23億円（同△0.2%）となっている。（第27表）

第32図 産業3類型別有形固定資産額の構成比



第27表 産業3類型別有形固定資産額（従業者30人以上の事業所）

（単位：百万円）

産業3分類	年初現在高		年末現在高		増減額	年初年末比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
基礎素材型	1,050,553	53.5	1,048,256	54.6	△ 2,296	△ 0.2
加工組立型	592,897	30.2	558,413	29.1	△ 34,484	△ 5.8
生活関連型	321,139	16.3	311,775	16.3	△ 9,364	△ 2.9
総数	1,964,589	100.0	1,918,445	100.0	△ 46,145	△ 2.3

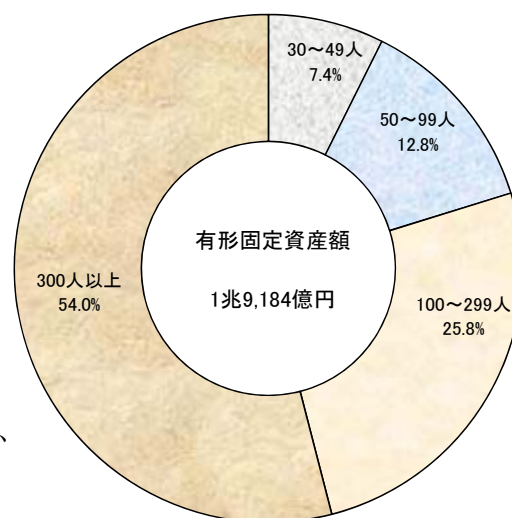
【従業者規模別 有形固定資産額】

○100人以上の規模で約8割を占める

従業者規模別（4区分）にみると、従業者数「300人以上」が1兆363億円（構成比54.0%）、同「100～299人」が4,945億円（同25.8%）となっており、この2規模（1兆5,308億円）で県全体の79.8%を占めている。（第33図）

年初現在高と比較すると、いずれの規模も減少しており、減少額が大きい順に従業者数「100～299人」が△226億円（年初比△4.4%）、同「50～99人」が△120億円（同△4.7%）、同「300人以上」が△71億円（同△0.7%）、同「30～49人」が△44億円（同△3.0%）となっている。（第28表）

第33図 従業者規模別有形固定資産額の構成比



第28表 従業者規模別有形固定資産額（従業者30人以上の事業所）

(単位:百万円)

従業者規模	年初現在高		年末現在高		増減額	年初年末比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
30～49人	145,975	7.4	141,527	7.4	△ 4,448	△ 3.0
50～99人	258,137	13.1	246,131	12.8	△ 12,005	△ 4.7
100～299人	517,154	26.3	494,521	25.8	△ 22,633	△ 4.4
300人以上	1,043,324	53.1	1,036,266	54.0	△ 7,058	△ 0.7
総数	1,964,589	100.0	1,918,445	100.0	△ 46,145	△ 2.3

7 有形固定資産額

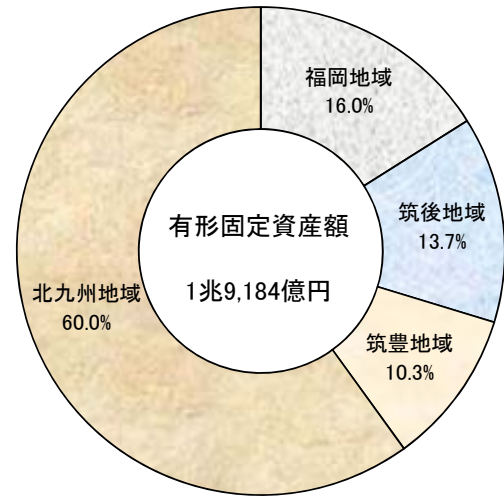
【地域別 有形固定資産額】

○北九州地域だけで約6割を占める

地域別にみると、北九州地域が1兆1,506億円（構成比60.0%）と最も大きく、次いで福岡地域が3,077億円（同16.0%）、筑後地域が2,624億円（同13.7%）、筑豊地域が1,977億円（同10.3%）となっている。（第34図）

年初現在高と比較すると、いずれの地域も減少しており、減少額が大きい順に北九州地域が△184億円（年初比△1.6%）、筑豊地域が△182億円（同△8.4%）、福岡地域が△87億円（同△2.8%）、筑後地域が△8億円（同△0.3%）となっている。（第29表）

第34図 地域別有形固定資産額の構成比



第29表 地域別有形固定資産額（従業者30人以上の事業所）

（単位：百万円）

地 域	年初現在高		年末現在高		増減額	年初年末比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
福 岡 地 域	316,403	16.1	307,673	16.0	△ 8,730	△ 2.8
筑 後 地 域	263,231	13.4	262,425	13.7	△ 806	△ 0.3
筑 豊 地 域	215,993	11.0	197,746	10.3	△ 18,247	△ 8.4
北 九 州 地 域	1,168,962	59.5	1,150,600	60.0	△ 18,362	△ 1.6
総 数	1,964,589	100.0	1,918,445	100.0	△ 46,145	△ 2.3